

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的など

1.1 背景と目的

長島町（以下「本町」という。）においては少子化の進展によって児童・生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでおり、平成 25 年度の幣串小学校と獅子島小学校の統合再編を筆頭に、平成 27 年度に本浦小学校が鷹巣小学校と、平成 29 年度に田尻小学校が川床小学校と、平成 30 年度に汐見小学校が城川内小学校とそれぞれ統合再編しました。今後も少子化が進むと考えられ、学校規模の適正化について検討が必要となっています。統合再編を進める場合、または小規模校の存続を図る場合のいずれにおいても、将来の児童・生徒数の動向を見据えた、効率的かつ効果的な施設整備が課題となっています。

本町の学校施設は、その半数以上が昭和 40 年代から昭和 50 年代にかけて建設されました。さらに、獅子島小学校以外のすべての学校施設において築年数 20 年を超えており、老朽化の進行は避けられません。今後は大規模な工事や修繕、建替えが必要となりますが、それには膨大な費用が掛かることが見込まれます。限られた財源の中で、学校施設の機能性と安全性を確保するためにも、長期的な視点から更新・統合再編・長寿命化を図ることで維持管理に係るコストを縮減・平準化することが必要となっています。

このような中、国は平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定するよう求められました。これを踏まえ、文部科学省では平成 27 年 4 月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を作成し、学校施設の長寿命化計画策定における考え方を示しています。

以上のような背景を踏まえ、本町における学校施設の状況を把握し、長期的な視点から計画的に更新・統合再編・長寿命化を行うことで、維持管理に係るトータルコストの縮減および予算の平準化につなげることを目的として、「長島町学校施設等長寿命化計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

1.2 計画の位置づけ

本町では、「長島町総合振興計画」に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理推進の基本方針として「長島町公共施設等総合管理計画」を策定しました。本計画は、「長島町公共施設等総合管理計画」を基に、その中の学校施設に関する個別計画として位置づけられるものです。

1.3 計画期間

本計画において、今後、学校施設が一斉に更新時期を迎える中、部位別や学校別の優先順位を考えながら、長寿命化による維持管理等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図ります。令和2年（2020年）から令和41年（2059年）の40年間の長期方針と今後10年間の具体的な整備計画を策定します。社会情勢や教育環境の変化等に応じ、原則として10年ごとに見直しを行うこととします。

1.4 学校等施設数

町内の小学校、中学校、学校給食センターを対象とします。建物は校舎と体育館を中心に、200㎡以上の建物を対象とします。改築計画がある鷹巣小学校の一部と城川内小学校の教室棟、および平成25年3月完成の獅子島小学校は現地調査の対象外としています。

表 1-1：長島町学校数、施設数

施設区分	学校数	施設数
小学校	7校	20棟
中学校	5校	18棟
給食センター	1施設	3棟
計	12校および1施設	41棟

表 1-2：長島町学校施設名一覧

小学校	中学校	給食センター
鷹巣小学校	鷹巣中学校	学校給食センター
川床小学校	川床中学校	-
伊唐小学校	獅子島中学校	-
城川内小学校	長島中学校	-
平尾小学校	平尾中学校	-
蔵之元小学校	-	-
獅子島小学校	-	-